

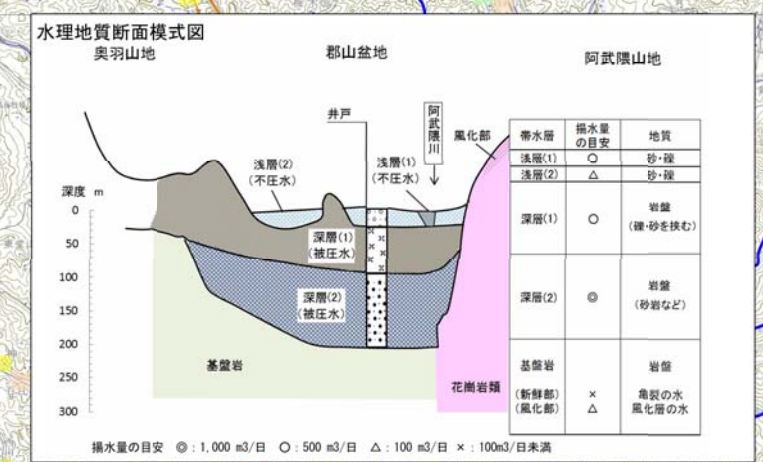
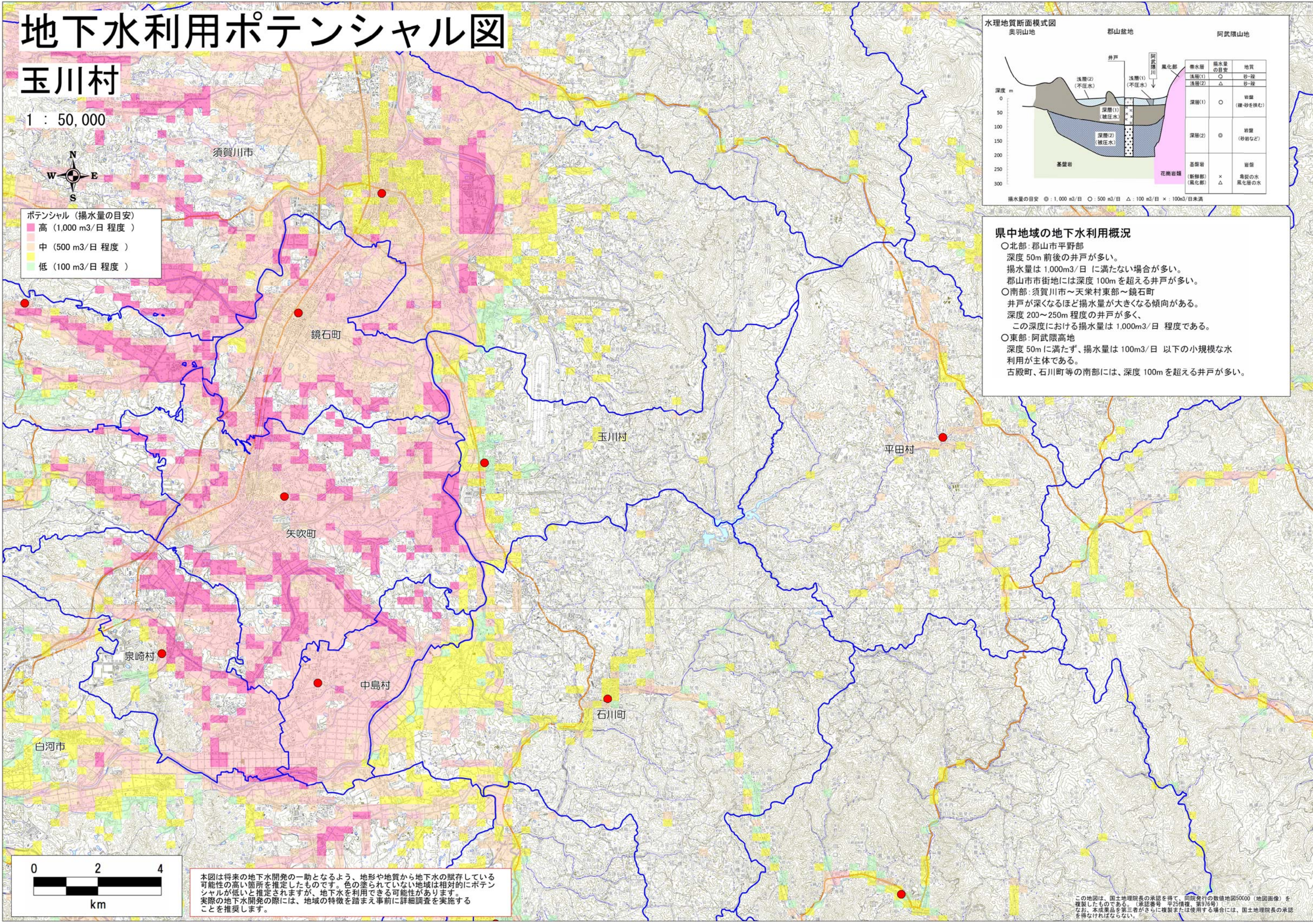
地下水利用ポテンシャル図

玉川村

1 : 50,000

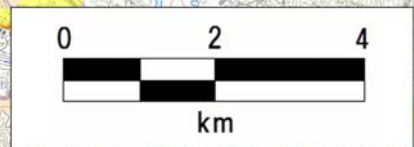


ポテンシャル（揚水量の目安）
 高（1,000 m³/日 程度）
 中（500 m³/日 程度）
 低（100 m³/日 程度）



県中地域の地下水利用概況

- 北部：郡山市平野部
 深度 50m 前後の井戸が多い。
 揚水量は 1,000m³/日 に満たない場合が多い。
 郡山市市街地には深度 100m を超える井戸が多い。
- 南部：須賀川市～天栄村東部～鏡石町
 井戸が深くなるほど揚水量が大きくなる傾向がある。
 深度 200～250m 程度の井戸が多く、
 この深度における揚水量は 1,000m³/日 程度である。
- 東部：阿武隈高地
 深度 50m に満たず、揚水量は 100m³/日 以下の小規模な水
 利用が主体である。
 古殿町、石川町等の南部には、深度 100m を超える井戸が多い。



本図は将来の地下水開発の一助となるよう、地形や地質から地下水の賦存している可能性の高い箇所を推定したものです。色の塗られていない地域は相対的にポテンシャルが低いと推定されますが、地下水を利用できる可能性があります。実際の地下水開発の際には、地域の特徴を踏まえ事前に詳細調査を実施することを推奨します。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平25情標 第916号）
 なお、本成果品を第三者がさらに複製または使用する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。